



会社案内

株式会社 復建技術コンサルタント

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1-7-25
TEL.022-262-1234 FAX.022-265-9309



<https://www.fgc.jp/>



公式SNS

https://x.com/Fukken_official



ご挨拶



社是



社員一人ひとりが技術と人格を磨き、
企業活動を通じて社会に貢献します。

当社の想い

くらし、かける、あしたへ。

復建技術コンサルタントは、人々の豊かな暮らしのために、
さまざまな事業を通じて、未来(明日)へつながる架け橋になります。

暮らし × 架ける
描ける 駆ける × 明日へ。

復建技術コンサルタントは、昭和21年(1946年)6月、太平洋戦争後の荒廃した国土の復興を目的に、国策によりつくられた社団法人復興建設技術協会の仙台出張所として発足いたしました。その後、昭和35年(1960年)に株式会社に移行し、令和5年(2023年)6月に創立77周年を迎えております。

この間、東北地方を中心に、社会資本整備全般に対して技術力をもって貢献してまいりました。

東日本大震災からまもなく13年が経過しますが、東北地方太平洋側ではいまだに余震への警戒が続く状態にあります。令和4年3月16日には、最大震度6強を記録する福島県沖地震が発生しました。福島県沖では、令和3年2月にも同規模の地震が発生しております。また、東北地方に限らず、国内では南海トラフ地震や首都直下型地震、中部圏・近畿圏直下地震、富士山の噴火等、広域に及ぶ桁違いの大災害がいつ起きてもおかしくない状況です。

さらに地震灾害だけでなく、近年は各地で大型台風、局所的豪雨などの災害が頻発化・激甚化して

おり、まさに自然の脅威に晒されております。

このような中で当社は、中央大手コンサルタントに並ぶ技術の保有を目指し、確固たる「地域のホームドクター」として、安全・安心な地域、社会づくりに貢献することを使命とし、日々技術の研鑽とDXの推進に取り組んでおります。

東日本大震災の復興事業はほぼ収束しておりますが、この間に得た知見や技術・人材を、国内全体の防災・減災、国土強靭化に活かしていくため、現在、東北エリアに軸足を置きつつ、事業の広域展開を進めております。

社長就任時に、「全員経営」、「健康経営」、「コンプライアンス経営」の3つを経営の柱に掲げました。これらをキーワードに、社員一人ひとりが知恵を絞り、働き方を改革し、生産性を高めながら、より一層、企業文化、社風を良くして、当社の企業価値と社会貢献度を高めていく所存です。

微力ではございますが、皆様のご期待に添えますよう努力して参りますので、今後ともご支援ご協力を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

沿革

1946年 社団法人復興建設技術協会設立
同仙台出張所開設
1960年 (株)東北復建事務所に組織変更
1967年 労働組合結成
1971年 (株)復建技術コンサルタントに社名変更
1985年 関連会社(株)仙台技術サービスおよび
ダイワ測量設計(株)を設立
1994年 本社新社屋完成

1998年 東京支店開設
2008年 名古屋営業所開設
2011年 東日本大震災
関連会社の2社が合併(株)ダイワ技術サービスとなる
2014年 関西事務所開設
2015年 本社増築社屋完成
2023年 創立77周年を迎える

認定・選定

当社は、「子育てサポート」、「優良な健康経営」、「地域経済の中心的担い手」として、厚生労働省および経済産業省から次の認定を受けております。



事業内容



- 構造技術 P5
- 道路 P7
- 都市計画・造成 P9

- 環境 P11
- 調査・防災・測量 P13
- 上下水道・河川 P15



構造技術

新設橋梁の設計や既設橋梁の点検・補修設計、鉄道構造物の設計等を行っています。
また、頻発する地震への対策として、耐震補強設計も行っています。

橋梁計画・設計

人と人をつなぐ橋

人々の生活や物流を支えるために、安全・安心に供用できる橋を設計しています。
また、BIM/CIMを活用し効率的な橋梁計画の検討も行っています。



橋梁の新設設計



BIM/CIMを活用した橋梁計画

維持管理

老朽化した橋の長寿命化

老朽化したインフラのマネジメントは国の喫緊の課題です。
地域の安全を確保するため、点検・補修設計をします。



高所におけるロープ点検



プレキャスト床版交換設計

鉄道

地域を活性化させる鉄道

通勤や通学、レジャーなど鉄道は人々の生活において重要な役割を担っています。
利用者が安全・安心に利用できる鉄道橋を設計します。



鉄道土木設計



鉄道構造物の計画



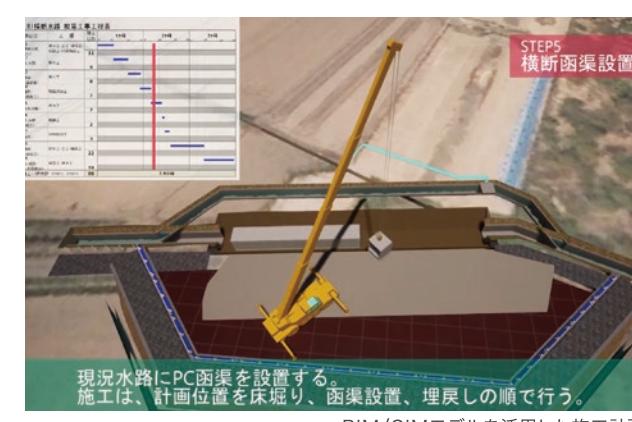
道路

高規格幹線道路や主要幹線道路の計画・設計、新設トンネルの設計や既設トンネルの補修補強設計等を行っています。また、景観性向上や防災力強化策として、電線共同溝設計も行っています。

道路計画・設計

技術でつなぐ

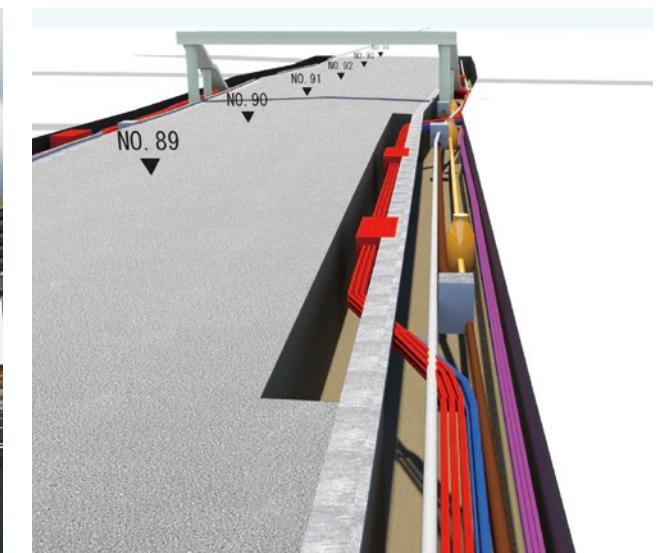
これまで培った豊富な経験やBIM/CIMなどの新技術を活用して、人やモノを未来へつなぐ道路の計画・設計を行います。



電線共同溝設計

インフラをつなぐ

安全・安心な社会づくり、快適な歩行空間の確保や景観性の向上など都市機能の高度化を図るための電線共同溝設計を行います。



トンネル新設設計・補修補強設計

道をつなぐ、未来を切り拓く

自然環境に配慮し地域の将来像を見据えたトンネルの計画・設計を行います。
また、人々の生活基盤を永く活用するため既設トンネルの点検・補修補強設計を行います。





都市計画・造成

日々更新され続けている社会のニーズに対し、様々な技術を取り入れた多角的な視点から、都市や地域に新たな価値を生み出しています。

都市計画・地域計画

まちの「仕掛け」づくりに貢献する

都市計画をはじめとした上位計画の構想や、まちの新たな中心施設を整備するため、新技術を活用しながら詳細な調査・検討を行います。



道の駅猪苗代 完成イメージパース:福島県猪苗代町

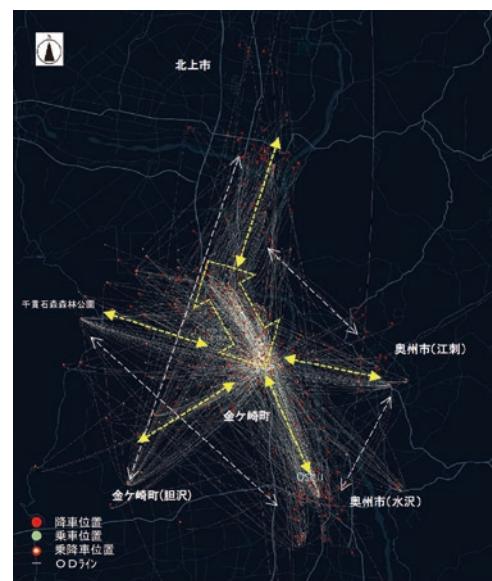
造成設計

小さなものから風土を紡ぐ

地域の風土や事業計画地の特性にもとづき、造成計画から道路設計、給排水、照明やサイン計画まで、防災、環境にも配慮した提案を行います。



福島県復興祈念公園 完成イメージ鳥瞰図:福島県浪江町・双葉町



地域公共交通網形成計画推進支援業務:岩手県金ヶ崎町

発注者支援(CM事業)

鍛え上げた マネジメント力で

建設事業に一連で携わることを目指し、都市事業部ではCM室を設置しています。発注者の下で、設計の検討・工程管理・品質管理・コスト管理など、各種建設事業のマネジメント業務を行います。

東北自動車道橋梁リニューアル工事:福島県郡山市
(東日本高速道路株式会社(NEXCO東日本)提供)



環境

より良いまちづくりと自然環境の保全のため、さらには持続可能な社会に向けて、自然環境調査、生活環境調査、予測・評価、委員会・審査会対応、各種資料作成等の業務を行います。

環境調査

自然との共生、持続可能な社会のために

動物や植物、環境DNAなどの自然環境調査ならびに大気質や騒音振動、水質などの生活環境調査を行います。



環境アセスメント

豊富な経験と高度な技術力をもとに、環境影響評価の調査・予測・評価はもちろん、行政との協議・調整をはじめ、意見書・説明会等の住民対応、環境影響評価審査会などの専門家対応や手続きに関する業務をサポートします。



環境調査、環境アセスメントのほか、廃棄物、土壤汚染、地球温暖化対策に関する業務にも幅広く対応します。



調査・防災・測量

社会インフラ整備に必要な地質リスクを評価するための調査・解析を行うほか、既存土木構造物の点検・評価、激甚化・頻発化する災害への迅速な対応など、測量～調査～対策工設計までワンストップで行い、国土強靭化、地域社会の安全・安心なまちづくりへ貢献します。

土質・地質調査、解析

不可視から可視へ、安全の基礎を築く

社会インフラ構築に必要となる地盤や地下水についての各種調査・解析を行うことに加え、三次元地盤モデルの作成や解析など高度な技術も取り入れ、円滑な事業の推進を支援します。



宅地防災

宅地耐震化の推進を支援

大規模地震による大規模盛土造成地における地盤災害について、これまで得られた経験と実績をもとに調査・解析・対策までワンストップで対応します。



宅地擁壁の点検



宅地擁壁の設計

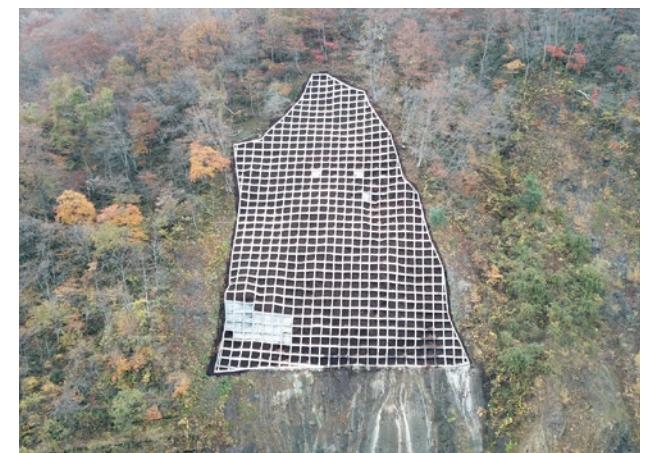
防災対策設計

斜面を診て最適な対策・予防工法を提案

豪雨や地震等による斜面崩壊・地すべり災害に対して、早期に復旧計画を立案します。また、激甚化・頻発化する災害に備えるために、効果的な予防保全対策計画を立案します。



斜面崩壊箇所の踏査

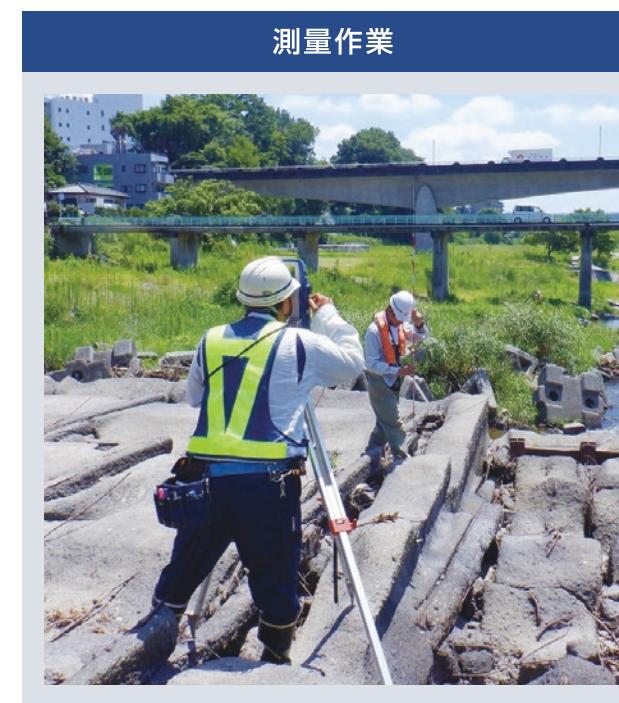


斜面对策工の設計

測量

精度と信頼で社会インフラを支える

従来の測量技術に加え、レーザードローン測量や点群処理を用いた高精度な地形情報を提供します。



測量作業



ドローンレーザー測量と点群モデル



上下水道・河川

これまで培った経験や3Dレーザー測量を活用して、安全安心を未来へつなぐ、社会基盤となる上下水道の計画・調査・設計を行います。

上水道分野

人々の生活・社会を地下から支える

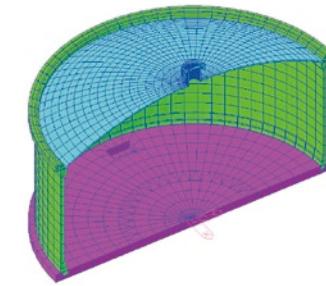
基本計画、アセットマネジメント計画(長寿命化計画)、施設の劣化・耐震診断、更新・新設設計、PPP/PFI・コンセッションなど、人々の生活や社会に不可欠な上水の安全・安心・安定供給のために、上水道に関する計画・調査・設計を行っています。



水管橋新設設計:宮城県



3Dモデルによる施工計画



水道施設の耐震モデル

頻発する豪雨や洪水などの水災害から、人命・コミュニティおよび社会生活を守るために、河川・農業施設の計画・調査・設計を行います。

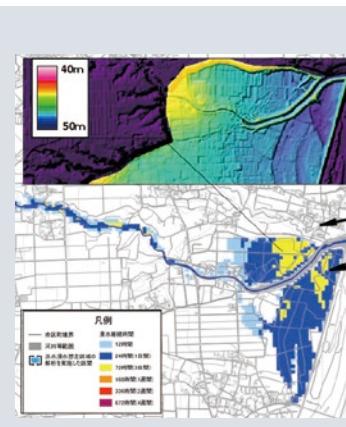
河川分野

「水」と「生活」をつなぐ社会インフラ整備に貢献する

河川及び河道計画策定、施設の維持管理・補修に必要な点検・診断、ストックマネジメント計画(長寿命化計画)の策定、豪雨や地震により被災した施設の調査・点検・設計を行うほか、将来的な被害を軽減するために必要なハザードマップ(浸水想定区域図)の作成を支援します。



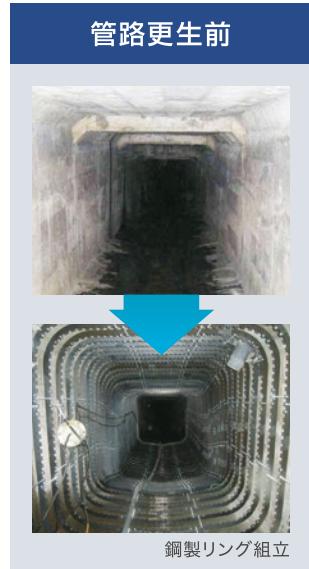
地震により被災した河川施設:宮城県



浸水想定解析例と浸水想定範囲の可視化例

下水道分野

事業計画、ストックマネジメント計画(長寿命化計画)、施設の劣化・耐震診断、更新設計、浸水想定解析、PPP/PFI・コンセッションなど、人々の生活や環境保全、内水氾濫予防のために不可欠な下水道に関する計画・調査・設計を行っています。



鋼製リング組立

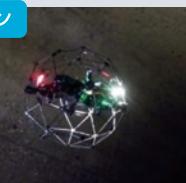


管路更生後(長寿命化後)



管路内調査状況

管内ドローン



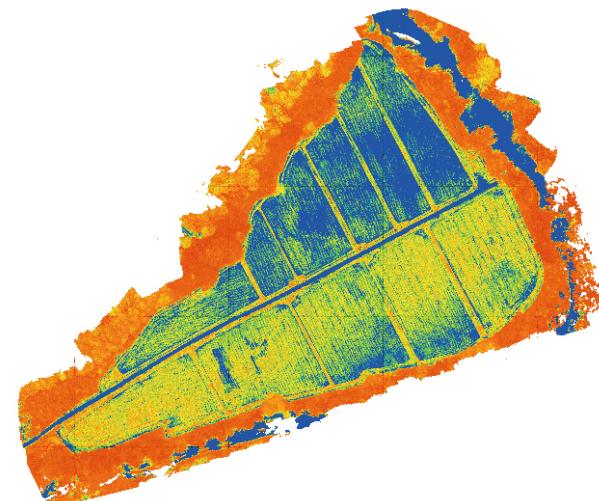
調査

農業土木分野

近年、農業用ため池では、豪雨や地震などの災害により被災する事案が発生しています。ため池の堤体および施設機能の点検・診断を行い、ストックマネジメント計画(長寿命化計画)を策定するとともに、地域の安全確保に必要な対策工について検討・設計を行います。そのほか、UAVによるマルチスペクトル撮影データの取得からNDVI(正規化植生指数)解析を行うなど、農産物の品質向上と安定生産に必要なソリューションを提案します。



ため池施設点検:宮城県



UAVによる水田育苗調査(幼穂形成期のマルチスペクトル画像)

機械・電気分野

取水場ポンプ設備、受電設備、計装設備(水位計、流量計等)など、上下水道の適切な維持管理のため、上下水道施設に附帯する機械設備および電気設備の設計を行っています。

災害対応

当社は、豪雨・地震等による災害対応に全力で取組み、地域の安全・安心を守ります。
各種災害において、現地調査・測量、被災メカニズムの解明、復旧設計、災害査定・実施設計、発注者支援等に迅速に対応します。

令和元年東日本台風 [2019年10月12日～13日]

豪雨により被災した河川および道路：宮城県丸森町



北海道胆振東部地震 [2018年9月6日発生 Mj6.7 最大震度7(厚真町)]

宅地造成盛土の変状により被災した建物および道路：北海道札幌市



熊本地震 [2016年4月16日発生 Mj7.3 最大震度7(益城町・西原村)]

宅地造成盛土の変状により被災したブロック積擁壁：熊本県益城町



事業所マップ

東北に本社を置き、
全国に広く事業展開しています。



くらし、かける、あしたへ。